

磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納清房
發行所 石城郡平町新屋町十四
電話 一〇一
廣告部 石城郡平町新屋町十四
電話 一〇一
月刊(日曜) 休刊

新川改修工事の

委員十一名任命

特別會計によつて
愈々十月十五日着工

平町では二十八日午後一時から町會を開き匡救土木事業新川改修の件を附議し特別會計を設けて工事を遂行する事に満場一致決定即日縣に申請し認可あり次第着工する事になったが、大体に於て十月十五日頃には工事を始める豫定である。右工事内容は左の如くであるが
工費内訳は
▲一七二五〇圓交付金▲五〇圓町費▲一〇〇圓雜收入▲五〇圓町費

既決土木事業を速かに解決せよ

町會で建議案可決

平町では失業者救済の意味を兼ひ既決土木事業を速かに解決せよと建議案を提出し満場一致で可決された。町會では豫算の許す範圍に於て極力着工を急ぐ方針である。

十月一日着工

石城郡内土木監督所管内の總額二萬三千圓の匡救土木事業は夏井、上遠野、入遠野を皮切りに七ヶ所の道路改修が一齊に十月一日から着工する運びとなった。失業救済の意味から努力費が大部分をしめ延人員三萬人を要すること地方勞工の豫定である。

櫻井町議の質問で

薬罐問題再燃す

町長欠席のため保留

既報薬罐問題として世間を騒がせたので次の町會に於て質問した水道工事竣工祝賀式の記念行事となつた。品購入問題はその當時町會議員緑川喜三郎、山下水道課長等の行爲を一般で非難する向きが多かつたが、二十八日の町會に於て町議櫻井清氏が當局に向つて同問題について質問を發したので俄然問題は再燃された貌となつた。櫻井町議は

若松大佐を迎え

臨時忠魂祭を執行

十月十五日平町で執行

事件の實戰講演會

石城郡町村長會並に石城郡在郷區長の證明書を出して今度こそ仕事にありつけると女房子供まで喜んでゐます。肩骨が抜けるまで働きます。どうかイの一番に仕事を與へて下さい。

小麥増殖協議

石城郡小麥増殖實行委員、責任技術員、實地指導地擔當員の第一回が、青沼隆太郎氏は二十九日平町役場を通じ貧困者並に共濟事業助成金として二十圓を寄附した。

平町會議員一同は過般水道擴張工事竣工祝賀式に際し記念品代として一名二十圓宛を贈られた。青沼隆太郎氏は二十九日平町役場を通じ貧困者並に共濟事業助成金として二十圓を寄附した。これが基礎調査をなすところあつたか、實現の氣運に向ひ近く町會を開き具体案を協議することになった。

失業者の登録

既に二百名を突破す

豫想以上で係官も驚く

平町職業紹介所で失業者登録の極貧層の反映なのである。始めて四日目、これは平町に居る初日二日目比べて四日目の二倍に達した。これは係官も驚く。十八日はレンペン君の出足が疎んで渡り鳥はその資格がない。だ、朝からの秋雨に打たれ傘も持たない三十男が型の様に行政

青年團で寄附

四倉町新須賀町青年團では去る二十日の四倉漁港修築起工記念の爲茨城縣磯濱より藝妓數名をまねぎて屋臺を出したが、剰余金十圓を四倉小學校備品費に寄附した。

關東北庭球大會

磐城球協會主催關東北庭球大會は十月十六日磐城A、B、C三コートに開催するが、参加八十組以上に達するものとみられ盛會を豫想されてゐる。

四倉市場取引

四倉市場における晩秋取引は出廻り最盛に入るとなす。活氣を呈し二十七日は出荷六百貫で相場は高値五圓八十六錢、安値四圓四十九錢買馴れ五圓四十一錢となつたが、買馴れの五圓四十一錢は今秋盤における縣下の最高値である。なほ高値も今日中の取引で六圓を割るものと豫想されてゐる。

水道計劃

小名濱町の

海岸線社の催はし

平町會議員一同は過般水道擴張工事竣工祝賀式に際し記念品代として一名二十圓宛を贈られた。青沼隆太郎氏は二十九日平町役場を通じ貧困者並に共濟事業助成金として二十圓を寄附した。これが基礎調査をなすところあつたか、實現の氣運に向ひ近く町會を開き具体案を協議することになった。

名物女倒死

四倉町名物女本籍不明通稱旗名食は二十六日同町仲町地内で倒死した。

醬油と味噌

山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

横濱植木株式會社特撰
草花・蔬菜類

優良種子

農園藝藥品の御相談は
各種賣出し致しました。

西村屋藥局
電話三番

消費節約

品質本位 家庭染料

みやぶ染

平町一丁目
特約店 大平や藥店
電話四六二番

シンシミーガンシ
露披店開

家庭用シンガーミシン月賦販賣
附屬品並に修繕、中古賣買
ミシン裁縫生徒募集

平町田町シンガーミシン會社
四倉本町十九番地
シンガーミシン會社出張所

シンガーミシン裁縫女學院
月賦 一圓五十錢

貯金はまづ一錢から

—自力更生緊張の秋!

種目
普通貯金 利息には税金がかかります
定期貯金 利息は半年複利
大株主は福島縣
集金人が伺ひます

平町田町(新道通り清水醫院跡)

福島貯蓄銀行

平支店
電話三〇八番

諸貸付も親切便利に御融通いたします

三河産業博覽會
昭和産業博覽會

金牌受賞

かまぼこ製造

儀用式 **折詰仕出し**

お惣菜用
さつま揚
吉原揚

平町一丁目
電話一四一番

夏期中臨時大特賣トシテ御願申シマシタ石炭モ御蔭様テ全部ヲ賣リ盡シマシタ、就キマシテハ從來ノ石炭ヲ御願ヒスル事ニナリマシタカラ不相變御引立ノ程偏ニ御願申シマス。

◎正味十貫目 金三十拾錢

御注文ハ

電話三七番へ

平停車場前
阿部石炭商店

心安積蓄 利低通融

三乘無盡

許免臣大藏大

社會盡無用信本湯

番七四話電

梅毒 皮膚病 專門

腸胃 腸胃病 專門

松村村松
腸胃病 專門

院醫科
(七〇一話電) 町南町平

許免臣大藏大 共存共栄

磐城無盡

電話三七番
電話三七番
電話三七番

乗合は 好間合戸、澤渡方面行

貨切御用命

セヒ 三井自動車部へ
電話六八五番

かまぼこ
折詰仕出し

御惣菜用さつま揚 吉原揚

平町二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番

近日賣出す發賣品は

一人前十五錢で満腹

平町三丁目

魚沼會堂

電話六三三番